

令和5年度

適性検査 B

注 意

- 1 問題は [1] から [3] までで、15ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は40分間です。
- 3 声を出して読むではいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **性別・受検番号**は解答用紙の決められた欄^{らん}2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立大宮国際中等教育学校

1

花子さんは、日曜日に家族でお菓子工場の見学に行きました。次の日、そのことについて先生と話をしています。

次の問1～問4に答えなさい。

【花子さんと先生の会話①】

先生：楽しい工場見学になったようで、よかったですね。

花子さん：お菓子が次々とベルトコンベアーで運ばれている様子や機械で大量に作られているようすは、見ていてとても楽しかったです。そういえば、そのときにおやつ話題になりました。なぜ、15時ごろにお菓子などを食べる間食のことをおやつというのでしょうか。

先生：江戸時代の時刻の表し方が関係していますよ。江戸時代は、現在の14時から15時ごろのことを「八つ時」といいました。1日2食が一般的だったころ、だいたいその時間に間食をとっていて、それを「お八つ」とよんでいたことから、間食をおやつというようになりました。

花子さん：知りませんでした。江戸時代の時刻の表し方に興味がわきました。

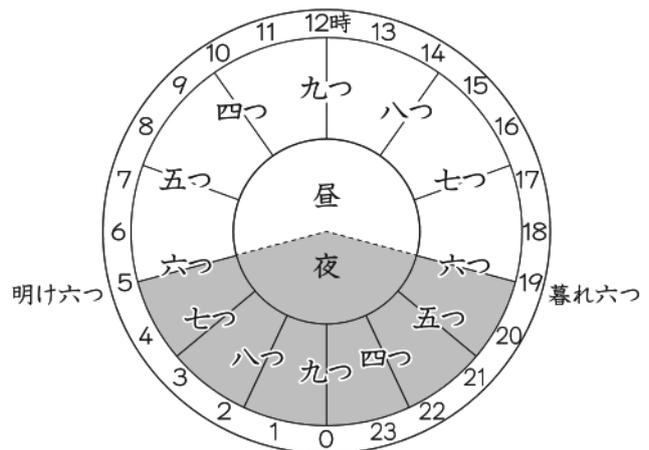
先生：では、もう少し詳しく説明しましょう。江戸時代の時刻は、日の出を「明け六つ」、日の入りを「暮れ六つ」とし、その間をそれぞれ6等分していました。ですから、その長さは昼と夜、そして季節によって変化したのです。資料1が参考になりますよ。なお、資料1の図は、5時から19時が昼間時間になる日について示しています。

花子さん：現在の時刻を江戸時代の方法で表してみるのもおもしろそうですね。

資料1 江戸時代の時刻の表し方

江戸時代の時刻は、九つ、八つ、七つ、六つ、五つ、四つを使って表された。各地に時のかねが設けられ、人々は、かねが鳴る回数で時刻を知ることができた。例えば、「八つ」には8回のかねが鳴らされた。

右の図は、現在の5時が明け六つ、現在の19時が暮れ六つになるときの江戸時代の時刻を示している。



(一般社団法人日本時計協会ウェブサイトをもとに作成)

問1 【花子さんと先生の会話①】、資料1をもとに、午後の「八つ」の時刻がいちばんおそくなる日を、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。ただし、ア～エのそれぞれの日の出と日の入りの時刻は、ア～エに書かれている時刻として考えること。

- ア 日の出 5時45分 / 日の入り 17時45分
- イ 日の出 4時30分 / 日の入り 19時00分
- ウ 日の出 6時30分 / 日の入り 17時30分
- エ 日の出 6時50分 / 日の入り 16時30分

【花子さんと先生の会話②】

先生：おやつといえば、この前、北海道のおみやげでお菓子をいただいたのですが、牛乳をたっぷり使って作られていると、その包装紙には、書いてありました。北海道は乳牛の飼育がさかんなので、牛乳を使ったお菓子が作られているのでしょう。

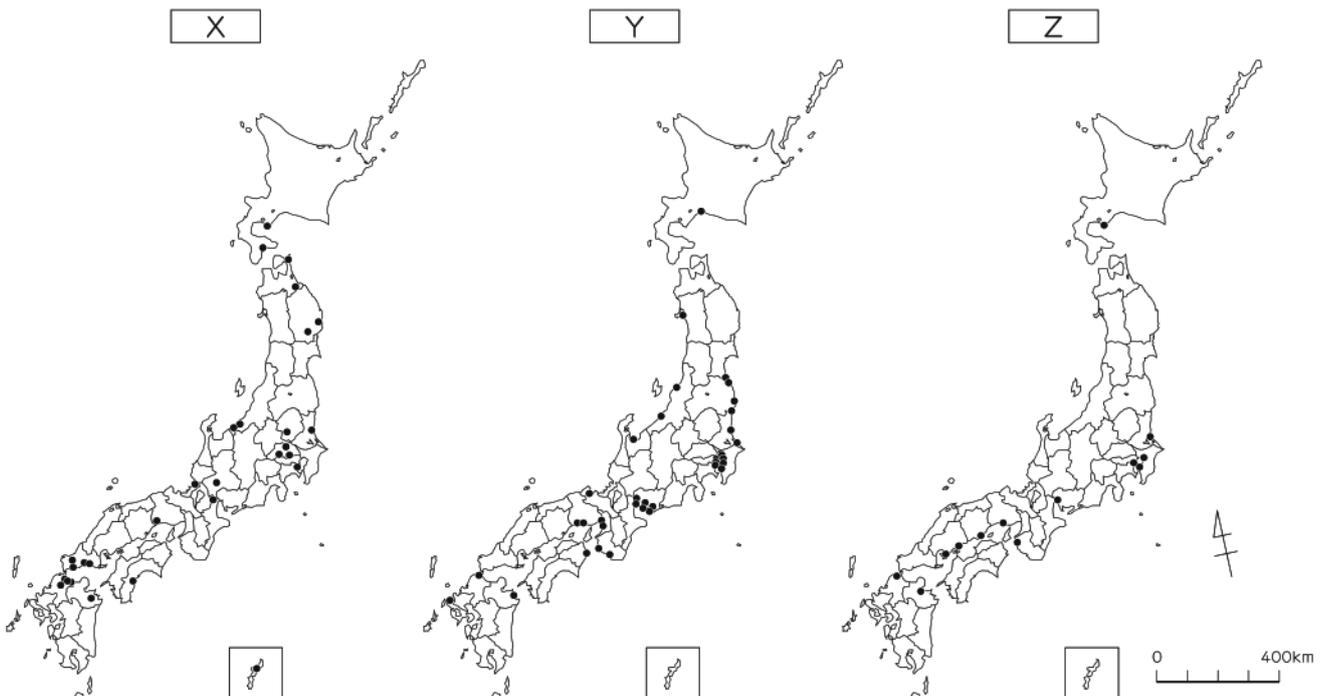
花子さん：そのおみやげのお菓子が北海道で作られているのは、原料である牛乳の*調達が簡単だからなのかもしれません。原料の調達と製品を作る場所には関係があるのですね。そういえば、社会の授業で、鉄は原料の多くを海外から調達して、製鉄所で作っているものであると習いました。鉄の原料は鉄鉱石でしたよね。

先生：そうですね。製鉄所の立地も原料の調達方法と関係があるのです。他にも、主に石灰石を使うセメント工場、石炭を使う火力発電所の立地も同じような関係があります。それぞれどのような場所にあるのか、次の資料2と資料3を参考に考えてみましょう。

花子さん：わかりました。やってみます。

※調達……必要なお金や物を集めてくること。

資料2 製鉄所、セメント工場、火力発電所のいずれかの立地



※火力発電所については、総出力150万kW以上の火力発電所を示している。

(「日本国勢図会2022/23年度版」、 「2017年版電気事業便覧」をもとに作成)

資料3 製鉄所、セメント工場、火力発電所の原料と立地の関係

| | 原料と立地の関係 |
|--------|---|
| 製鉄所 | 鉄は、主に鉄鉱石と、石炭をむし焼きにしたコークスを原料としています。鉄鉱石は主にオーストラリアやブラジルからの輸入に頼 ^{たよ} っています。とても重いので、海外からは船で運ばれます。輸入に便利で鉄を使う工場が多い、太平洋側に多く分布しています。 |
| セメント工場 | セメントの主な原料として、石灰石が使用されます。日本では全国各地に石灰岩が分布しているため、石灰石が豊富に採れ、自給率は100%となっています。石灰石は重く、遠くに運ぶのに費用がかかるので、工場は原料の産地の近くに多く建てられています。 |
| 火力発電所 | 火力発電の燃料は、石炭や石油、液化天然ガスで、そのほとんどを海外からの輸入に頼っています。火力発電所ではたくさんの水が必要になるため、火力発電所は海のすぐ近くに建てられています。全国各地の海ぞいにありますが、多くの電力が必要とされる都市部の近くに多く立地しています。 |

問2 資料2の空らん X ~ Z にあてはまるものの組み合わせとして最も適切なものを、資料3をもとに、次のア~カの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|---|----------|----------|----------|
| ア | X 製鉄所 | Y 火力発電所 | Z セメント工場 |
| イ | X 製鉄所 | Y セメント工場 | Z 火力発電所 |
| ウ | X 火力発電所 | Y 製鉄所 | Z セメント工場 |
| エ | X 火力発電所 | Y セメント工場 | Z 製鉄所 |
| オ | X セメント工場 | Y 製鉄所 | Z 火力発電所 |
| カ | X セメント工場 | Y 火力発電所 | Z 製鉄所 |

【花子さんと先生の会話③】

花子さん：原料の調達^{えいきょう}が、工場などの立地に影響することがよくわかりました。国内で商品がどのように運ばれているかについて興味がわき調べたところ、資料4を見つけました。

先生：2013年度以降は、積載率^{こくさいせきさい}が年々下がっているのですね。資料4の積載率とは、トラックにのせられる貨物の最大重量に対して、実際にトラックにのせた貨物の重量の比率のことでしたよね。

花子さん：はい。私は、積載率を上げることにより、効率的に輸送を行うことができるのではないかと思います、資料5のように輸送を行うことを考えました。

先生：<前>では、工場Ⅰ、Ⅱ、Ⅲから倉庫a、b、cに輸送し、倉庫a、b、cから^{のう}納品先まで複数のトラックで輸送しているようですね。トラックの上に表している数字でトラックの積載率を表しているということですね。わかりやすい資料をつくりましたね。

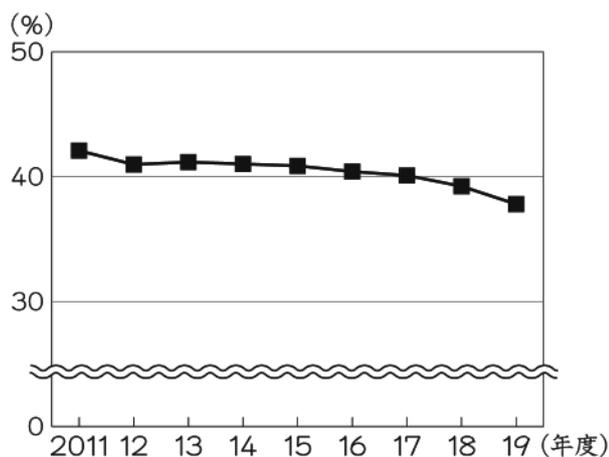
花子さん：ありがとうございます。トラックは最大で10トンの貨物を運ぶことができます。そして、<後>では、工場の荷物を、倉庫a、b、cよりも大きな倉庫dに輸送し、倉庫dから納品先まで輸送します。また、<前>と<後>のどちらの場合でも、すべてのトラックには運転手1人しか乗っていないこととします。このように、<後>では、少ないトラックの台数で、<前>と の貨物を輸送することで積載率を上げることができ、効率的な輸送につながると考えました。

先生：とてもよい着眼点ですね。しかし、資料5の<後>の方法では、 というような問題が発生するのではないかととも言われています。効率的な輸送を達成するためには、さまざまな観点から考える必要があるようです。

花子さん：そうですね。一言に効率的な輸送といっても、さまざまな要因が関係しているのですね。

※納品……品物をおさめること。

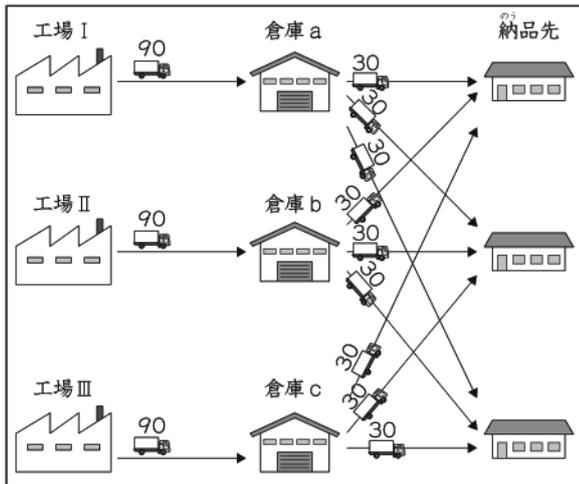
資料4 貨物を輸送する自動車の積載率の変化



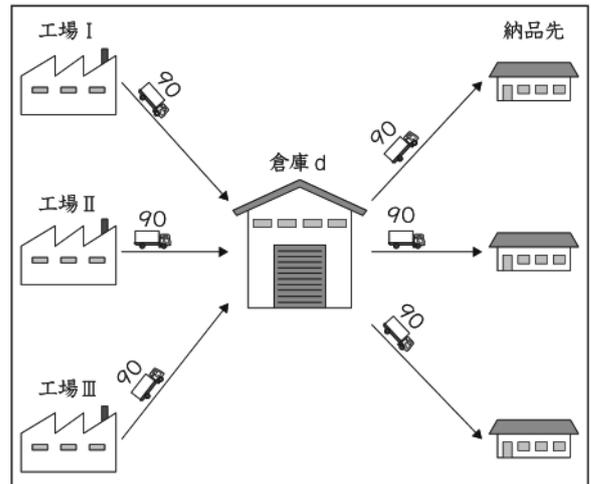
(国土交通省「自動車輸送統計年報(平成23年度～令和元年度)」をもとに作成)

資料5 花子さんが考えた、効率的な輸送の方法

<前>



<後>



(共同物流等の促進に向けた研究会「連携による持続可能な物流に向けて(提言)(令和元年)」をもとに作成)

問3 【花子さんと先生の会話③】、資料5をもとに、【花子さんと先生の会話③】の空らん にはあてはまる内容を4字以内で書きなさい。また、空らん にはあてはまる適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1台のトラックに積む荷物の量が減り、二酸化炭素の排出量を減らす
- イ 使用するトラックの台数が多くなることで、輸送費が増加する
- ウ 商品を集める倉庫が増えることで、費用が減る
- エ 納品先で一度に1台から受け取る荷物の量が増え、1回の積み下ろし作業が増加する

【花子さんと先生の会話④】

花子さん：最近、インターネットを使った通信販売の増加について家で話していたのですが、昔は商品の買い方が今とずいぶんちがったようですね。コンビニエンスストアによく行くのですが、コンビニエンスストアは、昔はこんなに店の数がなかったと聞きました。また、おばあちゃんは百貨店でよく買い物をしたそうです。

先生：コンビニエンスストアが増えたのは、1980年以降ですからね。百貨店、食料品スーパー、コンビニエンスストア、通信販売にはそれぞれ特徴があるので、生活の変化や買い物行動の変化によって、それぞれの販売額はここ数十年で大きく変化しています。

花子さん：百貨店、食料品スーパー、コンビニエンスストアのちがいが特に気になったので、自分で調べてみました。この資料6を見てください。コンビニエンスストアは、 が百貨店、食料品スーパーと比べ、いちばん大きいことにおどろきました。

先生：そうですね。調べてみると、いろいろなことがわかりそうですね。

資料6 百貨店、食料品スーパー、コンビニエンスストアの特徴（2014年）

| | 百貨店 | 食料品スーパー | コンビニエンスストア |
|----------------------------|---|---|--|
| 特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・衣・食・住にかかわるさまざまな商品を販売している。 ・売り場の面積は、3,000m²以上である。 ・※セルフ方式店でない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・あつまっている商品のうち、飲料、食料品が70%以上である。 ・売り場の面積は250m²以上である。 ・セルフ方式店である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・飲料、食料品をあつまっている。 ・売り場面積が30m²以上250m²未満である。 ・1日の営業時間は14時間以上である。 ・セルフ方式店である。 |
| 事業所数 | 195 | 14,768 | 35,096 |
| 従業員数 (人) | 66,683 | 748,815 | 537,618 |
| 年間商品販売額 (百万円) | 4,922,646 | 15,375,413 | 6,480,475 |
| 売り場面積 (m ²) | 4,761,930 | 18,766,075 | 4,335,189 |

※セルフ方式店……商品が無包装、あるいは包装されて値段がついており、客が自由に商品を取り、レジで商品の代金を支払う形式をセルフ方式という。この形式による販売を、売り場面積の50%以上で行っている店。

(経済産業省「平成26年商業統計表」をもとに作成)

問4 資料6をもとに、【花子さんと先生の会話④】の空らん にあてはまるものを、次のア～オの中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 1事業所あたりの年間商品販売額
- イ 売り場面積1m²あたりの年間商品販売額
- ウ 従業員1人あたりの年間商品販売額
- エ 1事業所あたりの従業員数
- オ 1事業所あたりの売り場面積

2

太郎さんとお父さんは、ダンボールに入った荷物の発送のために、宅配センターに行きました。持って行った荷物は、図1の保管場所に置かれました。それを見て、太郎さんは、お父さんと話しています。

次の問1～問4に答えなさい。

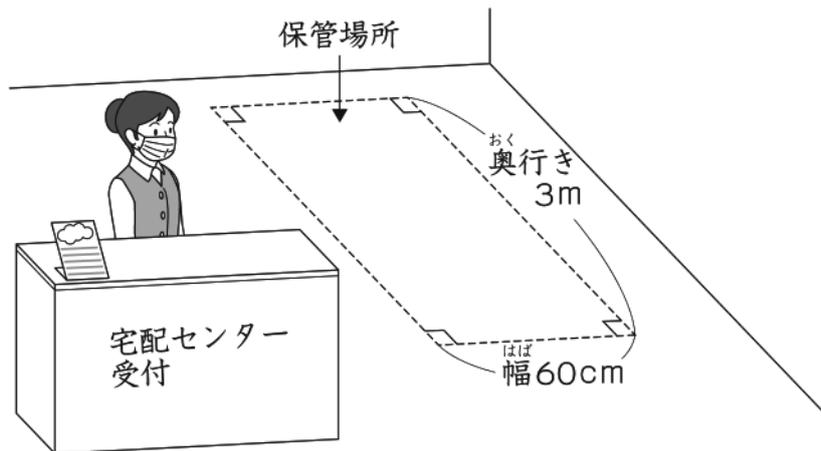
【太郎さんとお父さんの会話①】

太郎さん：ダンボールに入ったさまざまな大きさの荷物がありますね。

お父さん：そうだね。保管場所といっても限られたスペースだから、上に重ねて置かれている荷物もあるね。どのくらいの荷物を置くことができるかな。

太郎さん：保管場所には、どのくらい荷物を置くことができるのか、保管場所の大きさや荷物の種類、積み方などを宅配センターの人に聞いて調べたいと思います。

図1



問1 図1のように、保管場所は、幅が60cm、奥行きが3mの長方形をしています。その保管場所の中に、1辺が50cmの立方体の荷物を置くことを考えます。荷物を上に重ねずに置いた場合、最大で何個置くことができますか。ただし、となりどうしの荷物のすきまは10cmあけるものとします。

太郎さんとお父さんは、宅配センターの人に倉庫を見せてもらえることになりました。

【太郎さんとお父さんの会話②】

太郎さん：荷物を発送するために、荷物を保管場所から倉庫へ移動させるそうです。倉庫には、いくつか荷物がありますが、すべてあわせると、どのくらいの重さになるでしょうか。

お父さん：そうだね。まずは荷物の大きさを調べてみようか。

太郎さん：宅配センターの人によると荷物のサイズは、6種類になっているそうです。最も小さい荷物のサイズ《1》の体積を1として、荷物のサイズと体積の比と個数を表にまとめました。

お父さん：ありがとう。さて、このままだと1つ1つの荷物の重さがわからないから、計算できないね。どうやって計算しようか。

太郎さん：わたしたちが持ってきた荷物は、サイズ《4》で、重さが4kgでしたよね。

お父さん：そうだね。では、荷物の体積と重さが比例しているとして、倉庫に置かれているすべての荷物の重さの合計を計算してみよう。

太郎さん：わかりました。その方法で計算してみます。

表

| 荷物のサイズ | 荷物の体積の比 | 倉庫に置かれている荷物の個数 (個) |
|--------|---------|--------------------|
| 《1》 | 1 | 2 |
| 《2》 | 2 | 2 |
| 《3》 | 4 | 2 |
| 《4》 | 8 | 1 |
| 《5》 | 16 | 1 |
| 《6》 | 32 | 1 |

問2 【太郎さんとお父さんの会話②】、表をもとに、倉庫に置かれているすべての荷物の重さの合計を求めなさい。

太郎さんとお父さんは、宅配センターから自宅へ帰ってきました。太郎さんは、宅配センターの人の荷物の置き方について、お父さんと話をしています。

【太郎さんとお父さんの会話③】

太郎さん：先ほど、宅配センターの人の荷物の置き方を見ましたが、新しい荷物がきたら、それをゆかに置くか、それより大きな荷物の上に重ねて置いているようでした。時々、それらを整理しているようでしたよ。

お父さん：その整理とは、どのようなものだったのかな。

太郎さん：重ねて置かれている小さな荷物をすべて持ち上げて、大きな荷物の上に重ねて置くことで、まとめているようでした。また、すでに置かれている荷物を、となりの空いているスペースにわざわざ移動させたりはしていないようでした。

お父さん：少ない労力で整理しているようですね。

太郎さん：それをもとに考えてみたいことがあります。このような整理の仕方では、荷物を整理していくと、どの程度まで片づけることができるでしょうか。

お父さん：おもしろいことを考えたね。では、このような整理の仕方を【整理の手順】としてまとめてみたから、これをもとに考えていこうか。

太郎さん：はい。荷物は6種類のサイズが1個ずつあるとして、サイコロを使って考えていきたいと思えます。正面から見たときのサイコロの目の数を、荷物のサイズとして考えます。

【整理の手順の例】を、いくつか考えてみました。整理の仕方によっては、終りょうの状態は複数ありえますね。

お父さん：そうだね。

【整理の手順】

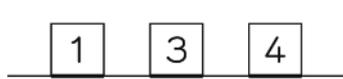
倉庫には、荷物を置くことができる4か所に区切られたスペースがあり、荷物がとなりどうしのスペースに置かれ、1列に並んでいます。また、荷物は6種類のサイズが1個ずつあります。最初、荷物は、ゆかまたは他の荷物の上に置かれています。これらを整理する手順は以下のとおりです。

- 1 1個または重ねて置かれている複数個の荷物を、以下の2、3によって、となりのスペースに移動させることができ、そのスペースに移動した動きを1回として数える。ただし、何も置かれていないスペースに、荷物を移動させることはできない。
- 2 移動させたい荷物が1個の場合、そのサイズが、となりのスペースにある、重ねて置かれている荷物^{なら}の一番上の荷物または1個置かれている荷物のサイズより小さければ、そのスペースにある荷物^{なら}の一番上にのせることができる。
- 3 移動させたい荷物が複数個の場合、それらのうち一番下の荷物のサイズが、となりのスペースにある、重ねて置かれている荷物^{なら}の一番上の荷物または1個置かれている荷物のサイズより小さければ、荷物を複数個まとめて、そのスペースにある荷物^{なら}の一番上にのせることができる。
- 4 1～3により荷物を移動させることができない状態を、終りょうの状態といい、整理を終える。

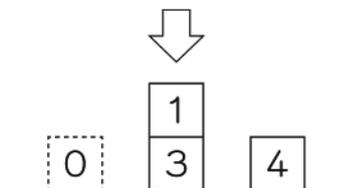
【整理の手順の例】

□1のサイコロとは、正面から見えている目の数が1のサイコロを表し、荷物のサイズが表の《1》という意味です。また、□1以外の□2から□6までのサイコロについても同じように《2》から《6》とします。□0は、サイコロがないことを表します。

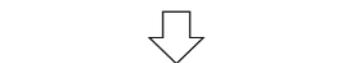
<例1>



□1は□3より小さいので、□1のサイコロを持ち上げて、□3のサイコロの上に重ねて置く。



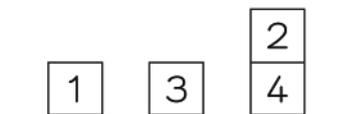
□3は□4より小さいので、□3のサイコロとその上の□1のサイコロを両方持ち上げて、□4のサイコロの上に重ねて置く。



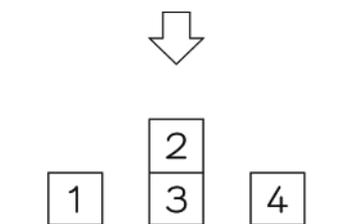
終りょうの状態

荷物のとなりは何も置かれていないスペースなので、これ以上サイコロを移動することができないため、終りょうの状態となる。

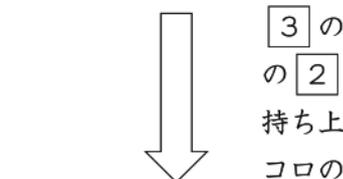
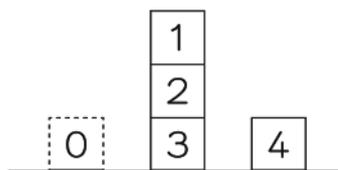
<例2>



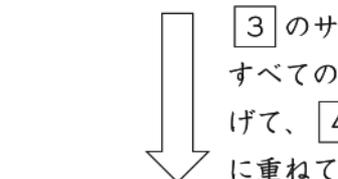
□2のサイコロを持ち上げて、□3のサイコロの上に重ねて置く。



□1のサイコロを持ち上げて、□2のサイコロの上に重ねて置く。



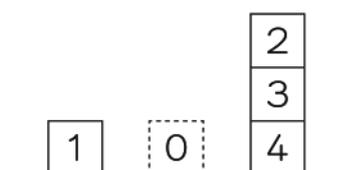
□3のサイコロとその上の□2のサイコロを両方持ち上げて、□4のサイコロの上に重ねて置く。



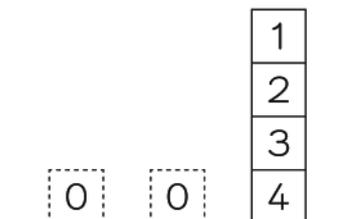
□3のサイコロとその上のすべてのサイコロを持ち上げて、□4のサイコロの上に重ねて置く。

終りょうの状態

終りょうの状態



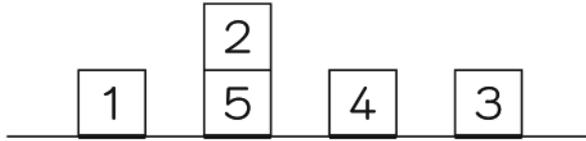
荷物のとなりは、何も置かれていないスペースなので、これ以上サイコロを移動することができないため、終りょうの状態となる。



荷物のとなりは、何も置かれていないスペースなので、これ以上サイコロを移動することができないため、終りょうの状態となる。

問3 【整理の手順】に従って、^{したが}図2の状態から整理を開始したとき、終りようの状態を表した図を2種類かきなさい。なお、荷物が無い場所には、0をかくこととします。

図2

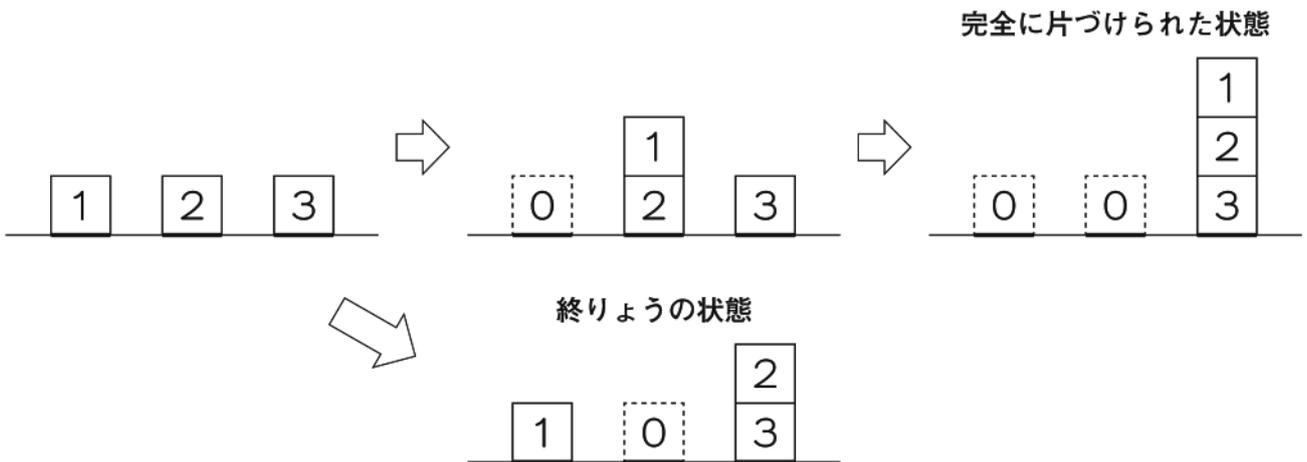


【太郎さんとお父さんの会話④】

お父さん：<例3>をみてごらん。移動の仕方によっては、終りようの状態において、サイコロの置かれた場所が1か所だけになることがわかるね。このような状態を、完全に片づけられた状態ということにしよう。

太郎さん：そうしましょう。少ない回数で、うまく移動して完全に片づけることが、効率的な整理だといえるわけですね。

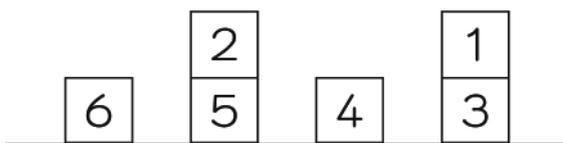
<例3>



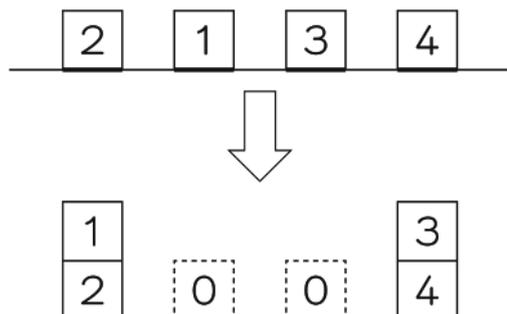
荷物のとなりは、何も置かれていないスペースなので、これ以上サイコロを移動することができないため、終りようの状態であるが、2か所にサイコロが置かれているので、完全に片づけられた状態とはいえない。

問4 【整理の手順】に従って、図3の状態から整理を開始したとき、完全に片づけられた状態にするためには、最小で何回移動が必要か答えなさい。ただし、<例4>のような移動は、2回サイコロを移動したとみなします。

図3



<例4>



3

花子さんは、言葉について調べていて、図書館でおもしろそうな本を見つけたので読んでみることにしました。

次の文章は、古田徹也著「いつもの言葉を哲学する」(朝日新聞出版)の一部です。これを読んで、問1～問5に答えなさい。

① 私たちが生活する世界は比喩的な表現に満ちている。「お手洗い」は普通、手を洗うことが主目的の場所ではない。(さらに言えば、公衆トイレの「洗面台」で実際に顔を洗っている人もまず見かけない。)また、「はらわたが煮えくりかえっている」ときも本当にはらわたが煮えているわけではないし、「断腸の思っている」ときも、本当に腸が断ち切れているわけではない。

そして、比喩的な表現は多くの場合、個別の習慣や生活形式(生活のかたち)、文化といったものと深く結びついている。たとえば、「成金」、「高飛車」、「駄目」、「一目置く」といった表現は、将棋や囲碁というゲームが生活に根差した文化以外では生まれえないものだ。また、「ガチャ」が比喩として成り立つのも、街中にガチャガチャ(ガチャポン)が設置されているという状況や、多くの人がスマホのゲームで「ガチャ」を回しているという状況があつてのことだし、「お手洗い」も、トイレの後に手を洗う習慣が存在しなければ、トイレやそこで用を足すことを指す言葉にはならなかつたろう。

X

この*1憶測が———本当に*2妥当なものかどうかはともかくとして———盛んに*3喧伝されたことは、私自身にとっては、自分が<住居内は土足禁止>という文化のうちで生活しているという、普段は気にも留めない事実を意識する機会になった。考えてみれば当たり前のことだが、たとえば「土足で踏み込む」とか「土足で入ってくる」といった表現は、家などの*4プライベートスペースに土足のまま入ることに対して強い拒否反応を示す文化内でのみ、独特の意味をもちうる。すなわち、他人のプライバシーや繊細な事情などを*5考慮せず、そこに無遠慮に立ち入って口を出したり*6詮索したりする、という意味である。

日本語であれ何であれ、*7自然言語の言葉を話すというのは生活形式(生活のかたち)の一部である。「土足で踏み込む」という言葉ひとつとっても、そこには、*8日本語圏の人々が長年どのように生活し、どのような文化をかたちづくってきたか、ということが背景にある。自然言語の言葉を深く知ることは、多くの場合、*9当該の言語が根を張ってきた文化のことを深く知ることでもあるのだ。その点で、個々の自然言語は、それぞれの歴史に*10培われた(おそらく最も巨大で複雑な)文化遺産という側面をもっている。しかも、それらは今現在も使われ、絶えず変容を続けているという意味で、生ける文化遺産だと言えるのである。

文化の形成には、人間共通の能力や特性といったもののほかに、個々の地域の地理的な条件や^{※11}偶発的な出来事等々、実に多様な要素が^{※12}与っている。たとえば、日本語におけるものの個数の呼び方と日数の数え方とを比べてみると、それぞれ、

「ひとつ」、「ふたつ」、「みっつ」、「よっつ」、「いつつ」、「むっつ」、「ななつ」、「やっつ」、「このつ」、「とう」

「ついたち」、「ふつか」、「みっか」、「よっか」、「いつか」、「むいか」、「なのか」、「ようか」、「このか」、「とうか」

という風に、共通している箇所とそうでない箇所が見出せる。なぜ「一日」は「ひとか」ではなく「ついたち」なのか、なぜ「六日」は「Y」ではなく「Z」なのか等々のことには、それぞれ、人間が発音しやすい音の特徴や、日本語の^{※13}音便（^{※14}連音変化）の^{※15}経緯、語源にさかのぼる言葉の長い歴史といった、多様で複雑な背景が存在する。たとえば、「ついたち」は元々は月のはじめ頃を指す「月立ち」であり、それが連音変化したかたちだという（角川古語大辞典）。

ものの数え方のこうした不規則性は、日本語の言葉を子どもに（あるいは外国人などに）教える際に^{みな}皆が手こずることのひとつだが、それは数え方の単位も同様だ。なぜ、リスやハムスターは「一匹、二匹」と数えるのに、ウサギは「一羽、二羽」と数えることがあるのか。イカはなぜ「一杯」なのか。豆腐はなぜ「一丁」なのか。なぜ、「パンツ一枚！」ではなく「パンツ一丁！」なのか、等々。——こうした疑問にはすべて一定の説明（あるいは、諸説）を与えることができるが、そのためには日本語圏の文化の歴史に、場合によっては相当深く分け入っていかなければならない。

言葉は、文化のなかに根を張り、生活のなかで用いられることで、はじめて意味をもつ。言葉について考えることは、それが息づく生活について考えることでもある。

（一部に省略、表記、ふりがなをつけるなどの変更があります。）

- ※1 憶測……はっきりわからないことを、たぶんこんなことだろうと考えること。
- ※2 妥当……考え方ややり方が、その状況に合っていること。
- ※3 喧伝……世の中に言いふらすこと。
- ※4 プライベートスペース……家族や個人だけのための、私的な空間のこと。
- ※5 考慮……よく考えること。
- ※6 詮索……細かいところまでくわしく知ろうとすること。
- ※7 自然言語……自然に発生し、社会で使われている言語のこと。日本語、英語、中国語、など。
- ※8 日本語圏……日本語が話されている地域。
- ※9 当該……話題の内容に関係する、そのもの。
- ※10 培う……長い時間をかけて育てる。
- ※11 偶発……思いがけず起こること。
- ※12 与る……関わる。
- ※13 音便……ある言葉の音が、発音しやすいように変わること。
- ※14 連音変化……2つ以上の文字や言葉がつながったときに、発音が変わること。
- ※15 経緯……ものごとがそのようになった成り行き。

問1 本文中の①の部分、文章中の言葉を使って、50字以上55字以内で要約しなさい。(句読点や記号は1字と数えます。)

問2 本文中の空らん には、次のア～エの4つの文が入ります。適切な順になるように、ア～エを並べかえなさい。

ア そのような文化の方が、外で履いていた靴でそのまま家中を歩き回ったりベッドに寝転がったりする文化よりも、部屋のなかが清潔に保たれ、ウイルスの飛散や付着の危険性も低下するのではないか、というわけだ。

イ 世界が※16パンデミックの※17様相を呈し始めた頃、欧米と比べて日本の感染者数が比較的低く抑えられている要因がさまざまに推測されていた。

ウ そのひとつとしてよく挙げられていたのは、〈日本をはじめとする特定の国や地域では、家に入るときに靴を脱ぐ文化がある〉というものだ。

エ 昨今の新型コロナ禍において、この点を私があらためて実感したのは、「土足」に関してである。

※16 パンデミック……感染爆発

※17 様相を呈し……ようすを示し

問3 花子さんは、下線部②「生ける文化遺産」とはどのようなことなのか、本文を読んで【花子さんのまとめ】のようにまとめました。空らん にあてはまる言葉を、本文中の言葉を使って、15字以内で書きなさい。なお、「生ける」は、「生きている」という意味です。(句読点や記号は1字と数えます。)

【花子さんのまとめ】

自然言語を生ける文化遺産にしている特徴

- ・人々が長年かたちづくってきた文化や生活が背景にあり、歴史に培われたという特徴
- ・ という特徴

問4 本文中の空らん 、 にあてはまる適切な言葉を本文の内容をふまえ、それぞれひらがな3字で書きなさい。

問5 本文の内容と筆者の表現の特徴について説明したものとして最も適切なものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本語には、日常の中で育まれた興味深い比喩表現が数多くあることを、具体的な例をいくつか挙げながら説明している。そして、こうした比喩表現を効果的に使うためには、漢字の成り立ちについてもっとよく知り、生活の中で言葉について考えていこうと述べている。

イ 日本語の比喩表現の起源に気づくことは難しいが、それ以上に数に関する表現がわかりにくいということを、数字に関するさまざまな表現を示しながら説明している。また、日本語のものの数え方の不規則性は、他の言語に比べてわかりにくいと述べている。

ウ 日常でなにげなく使われている表現を具体例として挙げながら、日本語がどのようなものの影^{えい}響^{きやう}で今の形になっているのかを、説明している。そのうえで、言葉について考える場合には、その言葉を育んできたものとの関係を無視^しすることはできないと述べている。

エ 比喩表現も、自然言語も、そこで暮^くらす人々と深い関わりがあるという点で共通していると説明している。そのため、日本語を子どもや外国人に教えるときには、まず自分たちにとって当たり前^{あたり}前の生活習慣や文化について教えていくことが効果的だと述べている。

これで、問題は終わりです。